

令和5年3月7日

**雲 仙 市**

担当課	健康福祉部 子ども支援課
担当者	職名 参事補 氏名 石田勝幸
電 話	0957-36-2500
F A X	0957-36-8900

## 「メットライフ財団支援 らたん」開所式について

雲仙市と一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきが連携し、メットライフ財団×日本財団が行う「高齢者・子どもの豊かな居場所プログラム」の採択を受け、子どもの居場所事業に取り組みます。開所にあたり、下記のとおり開所式を執り行います。

### メットライフ財団×日本財団 子ども第三の居場所「メットライフ財団支援 らたん」 開所式・内覧会概要

- 日時：2023年3月21日（祝）  
午前11時ごろ～開所式、終了後午後12時ごろを目途に内覧会を開始
- 場所：下峰多目的集会所  
(住所：長崎県雲仙市千々石町丙 2082 番地 2 2F (旧 下峰児童館 2F) )
- 当日の出席予定者
  - ・一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき 理事長 福地 照子
  - ・日本財団 常務理事 笹川 順平
  - ・雲仙市市長 金澤 秀三郎
  - ・メットライフ生命保険株式会社 執行役員常務 チーフコーポレートアフェアーズオフィサー ポール・マイルズ
- 当日の予定  
2階の集会所で開所式を行い、出席者の挨拶・事業概要説明等を行います。その後1階の「メットライフ財団支援 らたん」に移動し、施設を前にしたテープカットと写真撮影をします。

## 〈概要〉

### ■「子ども第三の居場所」について

日本では、困難を抱える子どものための学校でも家でもない「第三の居場所」の必要性が高まっています。日本財団は、子どもたちの孤立しやすい放課後の時間に、家庭や学校以外の場で、信頼できる大人や友達と安心して過ごし、将来の自立に向けて「生き抜く力」を育む「子ども第三の居場所」を全国 143 拠点（2023 年 1 月末時点）に設置しています。

### ■「メットライフ財団支援 らたん」について

一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさきにより 4 月から利用開始予定。利用定員は 15 名、自治体、学校、ソーシャルワーカー、関係機関などと密に連携し、困難に直面する子どもに対して手厚い支援を行う「常設ケアモデル」を開始。3 年後を目途に雲仙市に移管される予定。

「出会いから結婚、子育てにわたる切れ目ない支援」を総合的に行う「雲仙市 新・子育て応援パッケージ」を開始し、移住・定住と少子化対策や子ども関連事業が積極的に行われている雲仙市で、子ども第三の居場所としては市内で初となる。

### ■「高齢者・子どもの豊かな居場所プログラム」について

メットライフ財団から日本財団への約 4 億円の寄付により、2021 年 9 月に開始。3 年間で「高齢者ホスピス」と「子ども第三の居場所」計 12 カ所を開設する予定です。また、メットライフ生命の社員は日本財団が全国で展開する上記を含む同様の施設でボランティア活動を行っています。

#### 〈各広報担当連絡先〉

日本財団 経営企画広報部 広報チーム

電話：03-6229-5131 E-mail: [pr@ps.nippon-foundation.or.jp](mailto:pr@ps.nippon-foundation.or.jp)

日本財団ドネーション事業部 川部 070-4560-5406

メットライフ生命保険株式会社 コーポレートアフェアーズ

原田栄美（直通）070-4500-6709

E-mail: [haradaem@metlife.co.jp](mailto:haradaem@metlife.co.jp)

一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき 事務局長 山本倫子

E-mail: [rin-yama@nagasaki-boshikai.jp](mailto:rin-yama@nagasaki-boshikai.jp)

電話：095-828-1470

雲仙市健康福祉部 子ども支援課 課長 林田泰郎

E-mail: [kodomoshien@city.unzen.lg.jp](mailto:kodomoshien@city.unzen.lg.jp)

電話：0957-36-2500